中村学園大学(含む短期大学部)留学生宿舎運営細則

平成 12 年 4 月 1 日制定

(趣旨)

第 1 条 この細則は、中村学園大学(含む短期大学部)留学生宿舎規程(以下「規程」という。)に基づき、留学生宿舎(以下「宿舎」という。)についての運営に必要な事項を定める。

(入居手続)

第 2 条 規程第 7 条により宿舎への入居を希望する者は、所定の「入居願」を学生部に提出しなければならない。

2 学生部は、前項の入居願があったときは、学長へ許可を得なければならない。

3 学長は、入居を許可した者に「入居許可書」を交付する。

(宿舎費等)

第 3 条 入居者は、別表の宿舎費・管理費を毎月末日までに翌月分を指定された方法により納入しなければならない。

2 入居者が入居した月については、入居日が月の 15 日以前であれば、その月分全額、15 日以降の場合は半月分を納入しなければならない。

3 宿泊室内の電気使用料金は、指定された方法により、期日までに入居者が支払わなければならない。

(入居者の遵守事項)

第 4 条 入居者は、次の事項を遵守しなければならない。

(1) 学生らしく秩序を持って生活すること。

(2) 入居者以外の者を同居させないこと。

(3) 指定された宿泊室から許可なく他の宿泊室に転居しないこと。

(4) 宿舎の施設を汚損しないこと。

(5) 宿泊室の設備、備品を宿泊室外に持ち出さないこと。

(6) 勝手に施設・設備の改修等をしないこと。

2 その他、入居者は別に定める留学生宿舎利用心得を遵守しなければならない。

(損害賠償)

第 5 条 入居者が故意又は重大な過失により、施設・設備等を損傷又は滅失した時は、その損害を賠償させることがある。

(退居等)

第 6 条 自己の都合で宿舎を退居しようとする者は、あらかじめ学生部に届け出て、学長の許可を得なければならない。

2 次の各号の一つに該当する者は、学長が宿舎から退居させるものとする。

(1) 卒業した者。

(2) 退学又は除籍により学籍を失った者。

- (3) 正当な理由がなく、宿舍費を滞納した者。
 - (4) 留学生宿舍利用心得に違反する行為をした者。
 - (5) その他学長が宿舍の管理運営に著しく支障があると認めた者。
- 3 前項の規程により、宿舍から退居させられた者が損害を受けることがあっても、本学はその責任を負わない。

(休舎日)

第7条 宿舍の休舎日は、次のとおりとする。

- (1) 土曜日、日曜日、祝日
- (2) 中村学園創立記念日(5月17日)
- (3) 夏季休日(8月13日から8月14日まで)
- (4) 年末年始休日(12月31日から1月3日まで)
- (5) その他学長が指定した日

(管理人)

第8条 宿舍には、管理人を置く。

2 管理人の日常業務については、別に定める。

(門限等)

第9条 入居者の門限は、午後11時とする。

2 宿舍以外に宿泊する場合は、事前に学生部に届け出て許可を得なければならない。

(訪問者)

第10条 入居者に訪問者があったときは、原則として所定の場所を利用し、それ以外の施設を利用することはできない。

2 入居者以外の者が宿舍に宿泊することはできない。

3 訪問者は、午後10時までに退舎しなければならない。

(施錠)

第11条 宿舍の門・玄関は、午後11時から翌朝6時までは施錠する。

2 施錠の間の宿舍への出入りは、一切禁止する。

(非常立入り)

第12条 職員、管理人及び警備員は、火災、盗難その他の異常が認められるとき、又はその疑いがあるとき入居者の了承を得ないで宿泊室に立ち入ることができる。

(雑則)

第13条 この細則に定めるもののほか、宿舍の使用に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この細則は、令和元年7月1日から施行する。

別表 略